

昭和大学附属烏山病院だより あおぞら

〔発行責任者〕病院長 岩波 明
〔編集責任者〕広報委員長 常岡 俊昭
〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
〔電話〕03-3300-5231(代表)

第146号

〔2019年9月30日発行〕

「第1回日本成人期発達障害臨床医学会」

に参加して

精神医学教室 林 若穂

夏真っ盛りの7月27日、昭和大学上條記念館にて第一回日本成人期発達障害臨床医学会が開催された。今年完成したばかりの真新しい上條記念館で、大人の発達障害の臨床・研究の最前線に立つ先生や、支援者、当事者の方々の議論に触れることができるこの機会を非常に嬉しく感じ、身が引き締まる思いで参加した。

基調講演は、小野和哉先生に神経発達症概念の歴史的変遷と最新の病理病態論についてお話頂いた。シンポジウムⅠ「成人期発達障害の診断」では、「成人期発達障害診断の現在地と課題」を柏淳先生、「成人期発達障害診断の実際-運動並びに視覚認知機能発達の偏倚にも着目して-」を林寧哲先生、「子どもから大人への発達障害診断」を本田秀夫先生にお話頂いた。成人期における発達障害診断の困難さと診断におけるポイントを深く学ぶことができる内容であった。横断面の症状はライフステージや環境により変化するため、よく過去を遡り、ダイナミックな視点を忘れないこと、治療者が「診断を留保する」「不安と向き合う」作業の重要性を実感した。特別講演「成人期発達障害者への支援に関する厚生労働省の施策について」は、厚生労働省の田中尚樹氏に発達障害者支援における行政の最新の取り組みについてお話頂いた。シンポジウムⅡ「成人期発達障害～治療における課題」では、「薬物療法の現状と課題」を松岡孝裕先生に、「成人期発達障害の心理社会的治療～デイケアでの取り組みについて～」を横井英樹氏に、「民間における就労支援の現状と今後の予想」をKAIENの鈴木慶太氏に、指定発言をえじそんくらぶの高山恵子氏にお話頂いた。実際の症例をもとにした薬物治療や、プログラムを通じた心理教育、家族・就労支援、当事者の視点を詳しく知ることができた。

開始前にとっても広く見えていた会場は、あっという間に満席になり立ち見の人で溢れかえった。各セッションでは演者に多くの質問が寄せられ、参加者一人一人の成人期発達障害に対する治療や支援の情熱が伝わって来るような盛り上がりであった。今回の学会でもいじめの問題や療育環境の重要性が繰り返し指摘されていたが、一人一人が「変わっていること」は「劣っている」「駄目なこと」ではなく



、「自分らしさ」「素敵なこと」という環境の中で大人になれる社会に変わってほしいと感じた。その中で、過度な苦痛や症状を緩和することで、発達特性や精神疾患をもつ人が、「その人らしさ」や能力を存分に発揮できる素地を作っていける治療ができれば良いと思い、今後の診療や研究に対してのモチベーションが高まる素晴らしい学会であった。



2019年度第1回公開講座を 9月7日開催いたしました

「発達障害と内科」

昭和大学臨床薬理研究所内 医学部循環器内科教授 阿久津靖

糖尿病、悪性腫瘍、脳血管障害、虚血性心疾患とともに五大生活習慣病といわれる精神疾患は、日本で約400万人に達する最も多い疾患であり、生活習慣病と合併しやすく、悪化しやすい。一方、近年注目を浴びている発達障害患者は約4万人に達し、10年で約6倍に増加しており、不眠・情緒異常によりうつ病・統合失調症・認知機能障害などの精神疾患を起こしやすく、糖尿病・癌・脳血管疾患をはじめ高血圧・高脂血症・肥満・下肢静脈血栓症・喫煙からくる肺気腫・アルコール多飲による肝障害などの生活習慣病が合併しやすいため、精神行動療法による生活習慣の見直しとともに、内科受診し、血液検査・レントゲン・呼吸器検査・超音波検査・CT・MRI検査等による精密検査にて生活習慣病の早期診断と内科治療がとても重要です。



『発達障害と歯科』

昭和大学附属烏山病院 歯科・歯科口腔外科助教 松井庄平

歯を失ってしまう原因の多くは、むし歯と歯周病です。この二つを予防するためには、毎日の歯ブラシと、定期的なかかりつけ歯科への受診がとても重要になります。歯科を受診する際に問診表を上手に使うこと、また、ご自身のお困りごとや、苦手なこと（例えば歯医者さんの音やライトの光など）を事前にお伝えいただくことで、スムーズな歯科受診ができ、安心して治療にのぞんで頂けると思います。今回の公開講座では、発達障害の方が上手に歯科を利用するコツや、全般的な歯やお口に関する話を、活発な質問をいただきながらお話させて頂きました。お口の健康を保つことは、人生を幸せにすると考え、今後も尽力してまいりたいと思います。今回の公開講座にあたり、アンケートにご協力いただいたデイケア通所の皆様にこの場をお借りしまして心より御礼申し上げます。

デイケア向上委員会

デイケア利用者 イノデン

デイケア向上委員会とは、デイケアの設備やプログラムの運営するプログラムです。「デイケアにこんな事やこんなイベントをやってほしい。」という要望の実現を目指します。

最近ではガーデニングで収穫物が誰かに持っていかれるという事があったので、みんなで立て看板を作りました。2個作りました。自分はパソコンで注意喚起の文章を作りました。うまく作れたので自分はずごくうれしかったです。

みなさんもぜひ、デイケア向上委員会に出てみてください。出るとお菓子やお茶が出るよ。今はデイケアの改善するアンケートを取っていて、今後活動に生かしていきたいと思います。月曜日の13:30~14:30やっています。

依存症プログラム

精神医学教室 講師 常岡 俊昭

依存症の治療はここ数年で劇的に変化し、多様化してきています。この方法で、とゴールデンスタンダードだけだった時代から、本人に合うようにオーダーメイドで治療法を考えていく時代に変化してきています。当院で行われている依存症関係のプログラムや企画をご紹介します。複数に参加している方もいらっしゃいます。興味のあるものがありましたら、アディクション（依存症）外来を受診頂くか、すでに当院に通院中の方は各主治医にお問い合わせ頂ければ幸いです。

併存障害治療プログラム（月曜日午後）：入院中の方を対象に、アルコールや薬物・ギャンブルなどに加えてうつ病や統合失調症・不安障害などの合併についてワークブックを使って勉強していきます。

SMARPP（月曜日午前）：原則外来の方を対象にアルコール・薬物・ギャンブルなどの問題を抱えている方が勉強していきます。毎週集まることで、仲間意識も芽生えていきます。

言いつばなしプログラム（火曜日午後）：外来・入院の方を対象に、テーマを決めて思ったことや言いたいことを話してもらいます。原則どのような内容であっても他者から批難・批判されることはなく、気持ちを話す練習の場としても使ってもらっています。

ギャンブル（行動嗜癖）障害治療プログラム（第2・第4金曜日午後）：ワークブックを使って物質ではなく行動嗜癖（ギャンブル・買い物・ゲームなど）について勉強します。

S B I R T S（金曜日）：先月号でご説明した、自助グループメンバーへの電話での紹介を行っています。

自助グループ見学ツアー（不定期）：入院している方と一緒に近隣の自助グループにスタッフと一緒に参加して参加していきます。

認知症カフェ

臨床心理士 根本 ありす



当院、作業療法室にて2019年度第2回シニアオレンジカフェが9月7日(土)開催されました。今回の講義は、心理療法室から臨床心理士/公認心理師が担当させていただきました。今回は「心理士の話の聴き方・伝え方」をテーマに、具体的な場面をお芝居形式にしてお話ししました。話の聴き方では、耳を傾ける「傾聴」の仕方やなるべくご本人と視線を合わせてのコミュニケーションを意識する事が効果的であることなどをお伝えしました。伝え方では、自分の気持ちだけを伝えて行動の改善は相手に任せる話し方についてお話ししました。講義の内容少な々難しいものでもありましたが、参加された皆さんには具体的な場面のお芝居が好評で、OTの宮下さんのおじいさん役はとて

もリアルで、栄養士の古原さんの介護人さんの演技はとて優しく、臨場感にあふれた講義になったのではないかと思います。参加者の皆さんもお芝居があつてわかりやすかつた感想を述べてくださり、このシニアオレンジカフェではこの小劇団が今後も継続して活躍してくれる事と思います。私自身も参加者の皆さんの日々のご苦勞を伺うなかで、今以上にまだまだ私たちができる事があるのではないかという思いを新たにしました。参加者の皆様、スタッフの皆様、貴重な時間を一緒させていただき幸せでした。ありがとうございました。

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～土曜日・8時30分～17時
電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329
土曜日 03-3300-5231
◎初診受付：月曜日～土曜日・8時30分～11時
◎休診日：日祭日・本学創立記念日・年末年始

《8月》	入院(前月)	外来(前月)
◆延患者数	8,175 (8,666)	6,059 (6,123)
◇一日平均患者数	272.5 (26.5)	242.4 (278.3)
◆診療実日数	30 (31)	25 (22)

【編集後記】

9月に入りましたが、まだまだ暑い日が続いています。秋はやってくるのかな？と不安にもなりますが、もうしばらく夏のなごりを楽しみつつやってくる秋を楽しみに待ちたいと思います。

体調を崩しやすい時期ですので、十分に気を付けてください。

広報委員 安齋

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちして

おります。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp

